新潟西部地域
「新之助」生育情報　No.3

令 和 ６ 年 ６ 月 20 日
巻農業普及指導センター

◎中干しを継続し、無効分げつの発生を抑制！
◎田面に小ヒビが入る程度で中干し終了！

【６月20日の生育データ（指標値比較）】

草丈「やや長い」、茎数「やや多い」、葉数「並」、葉色「淡い」

区分	調査地点	移植日	草丈（cm）		茎数（本／㎡）		主幹葉数（L）		葉色（SPAD）	
			本年値	指標比 %	本年値	指標比 %	本年値	指標差L	本年値	指標差
分施	巻（普及）	5月14日	34	100	622	156	8.7	0.1	37.8	−3.2
全量基肥	巻	5月18日	33	97	469	117	8.4	−0.2	34.5	−6.5
	岩室	5月11日	37	109	485	121	8.3	−0.3	36.0	−5.0
	潟東	5月10日	35	103	333	83	9.4	0.8	43.5	2.5
	中之口	5月12日	40	118	382	96	8.8	0.2	41.4	0.4
	黒埼	5月10日	39	115	384	96	8.5	−0.1	37.6	−3.4
	にいがた西	5月11日	35	103	351	88	8.1	−0.5	40.9	−0.1
全体平均		5月12日	36	106	432	108	8.6	0.0	38.8	−2.2
指標値		5月15日	34		400		8.6		41.0	
近年値		5月13日	32		406		8.3		38.4	

※調査地点：JA新潟かがやき「越後中央」新之助研究会、JA新潟かがやき「みらい」新之助栽培研究会、普及センター気象感応ほ調査データ
※近年値はH29～R5までの平均値

【今後の気象状況】

○　新潟地方気象台１か月（6/22～7/21）予報では、**気温は高い見込み**です。

【今後の管理ポイント】

○　中干しの程度は田面に**小ヒビが入る程度**としましょう。その後、乾かし過ぎて大ヒビが入らないように**間断かん水に移行**しましょう。

○　溝切りは、生育調節や地耐力確保のためだけでなく、**フェーン時等の迅速なかん水にも効果**があるため確実に行うとともに、溝の連結を確認しましょう。

○　梅雨入りすると、いもち病が発生しやすくなります。葉いもちの発生に注意し、発病が認められたら、粉剤又は液剤で直ちに防除を行いましょう。補植苗はいもち病の伝染源になるため直ちに除去しましょう。

○　斑点米対策のため、カメムシが生息する畦畔等の雑草管理と水田内の雑草防除（特にノビエ、ホタルイ）を確実に行いましょう。

（次回調査は７月１日）